



2008年12月25日

片山かおるの ちょっとカエル通信

4号



おとな子どももいっしょに育つ町にしよう

News

農工大通り沿いに事務所を開設しました。お気軽にお立ち寄りください。

片山かおるといっしょにかえる小金井の会 事務所

〒184-0012 小金井市中町3-10-10-103 TEL & FAX : 042-316-1511



学校はこれからどうなるの？～沖縄戦の劇を見て

昨春、沖縄戦「集団自決」に関する教科書検定が問題となり、秋には11万人もが参加した沖縄県民大会が開かれました。

小金井からもなにかアクションを起こさねば! と思い、小金井市議会に『沖縄戦「集団自決」(強制集団死)への軍関与を否定する教科書検定意見の撤回を求める意見書提出に関する要望書』を提出。意見書は全会一致で採択されました。その後も、文科省へ要請書を提出したり、市内で沖縄の映画や講演やライブなどを開催。

そんな中、11月には小金井の小学校の学芸会で、六年生による沖縄戦の劇が上演されました。沖縄の文化を事前学習で学び、自分たちでナレーションも決めたそうです。学童保育の頃からよく知っている、やんちゃな子たちがこんなに大きくなって!という感慨と劇の素晴らしさに涙。「～この時代に、ぼくはなにをしよう～」と歌う声にまた涙しながら、おとなたちが問われているように思いました。

沖縄では確実にむごい戦争があったのに、なぜいま、それを覆い隠して、戦争を美化しようとするのか。

いまの「教科書検定」は本当に必要なか、という疑問も多くの人からあがっています。

「改訂」された教育基本法のもとで、新しい学習指導要領が作成され、来年春から一部実施されようとしています。とても気になるのは、道徳がことさら強調され、「国を愛する心」が評価されるかもしれないことです。また、先生の余裕がないまま、授業時間数を増やしても、ついていけない子はそのままになります。いまだに30人単位の少人数学級を取り入れず、40人クラスにこだわっているのは東京だけです。

本来、教育とは、先生方の自由かつ達な議論のもと、創意工夫にあふれる授業を組み立て、子どもと共につくっていくものではないでしょうか。そして、そんな先生たちを応援していくのが、親や地域の役割です。

新学習指導要領とは何かを学び、これからの学校がどうなるのか、なにができるのか、いっしょに考えていきましょう。(片山かおる 前原町)



片山かおると
いっしょにかえる
小金井の会
(略称:かおるの会)
へのお誘い

～みんなで知恵を出し合って、片山かおるとともに、
これからの小金井の町づくりを考えていきませんか?～

かおるの会は、「平和」「人権」「民主主義」を基本理念に、市民参加で安心して暮らせる小金井市をつくるために活動しています。

会費は年1口 1,000円。カンパも大歓迎!

郵便振替口座 00120-5-357785

加入者名「片山かおるといっしょにかえる小金井の会」



片山かおると

いっしょにかえる小金井の会

〒184-0012 小金井市中町3-10-10-103
tel & fax: 042-316-1511
e-mail: kaoru-09@bds.so-net.ne.jp
http://katayamakaoru.net

片山かおるプロフィール

1966年12月長崎県生まれ。4才から杉並区で育つ。
1995年より小金井市在住。パートナーの水由章と中1と小4の男の子たち、猫たちと前原町に暮らす。8ミリ映画制作。個人・実験映画を配給。
小金井子育て交流会「す～ぶ」、つくるう!子どもの権利条例の会、8mmFILM小金井街道プロジェクトなどに参加。「教育ってなんだろう?」こがねい連絡会世話人、武蔵野はらっぱ祭り実行委員会事務局、One's Eyes Film代表、市民自治こがねい運営委員

12/5に行なわれた「(仮称)小金井市子ども条例」審議では、あいかわらず子どもの権利をできるだけ認めたくない議員の質問と、条例をつくっても何もやる気のない市長と部局の答弁にあきれました。何より変だと思ったのは、市民に対してこの条例についての説明会を開いてほしい、という陳情が否決されたこと。まだまだ審議は続きます。

今回は1/8の午前10時からの厚生文教委員会です。子どもたちのための条例です。絵に描いた餅ではなく、実効性をもったものにするため、最後まで見届けたいと思います。



「産科医療補償制度の疑問??」

12/5、産科医療補償制度にからんで、出産一時金がアップされる議案が検討されました。障がい当事者からは「制度ができて少しでも補償されるなら助かる」といったものから「脳性マヒが生まれてはいけないのか」という声も。本来は、それぞれのニーズに合った支援策が必要です。お産当事者の意見も置き去りにした、保険会社だけが儲かる制度には疑問の声をあげていかなければ、と思います。



「衛生研説明会開催か!?!」

12/9には、国立医薬品食品衛生研究所(衛生研)が府中の米軍基地跡地に移転してくる問題についての陳情審議が、総務企画委員会でありました。説明会を開くよう衛生研に求めてほしいという陳情は、全会一致で採択されました! 今後は企画政策課の動きに注目です。先日、TV番組の『相棒』でも、レベル4の実験施設から生物兵器のウィルスが盗まれ、バイオテロの危険にさらされる、というドラマが放映されました。あまりにタイムリーな題材でびっくり! 早急に説明会を開催するよう、また、この移転問題について、市からも広報するよう求めています。



片山かおると小金井を語る会レポート

山内美穂 前原町

11/29丸山台集会所にて、地域で困っていること、小金井がこうあってほしいと思うことを語り合う会の3回目が開かれました。衛生研移転問題の市議会への陳情の内容説明がありました。移転予定地に近い前原町5丁目の方々の参加があり、「他人事」ではない地域住民として今後も注目していくことの大切さなどが話し合われました。NPO法人『また明日』で働く金子恵介さんをゲストに介護施設と保育所が一つ屋根の下で混在する新しい形の地域の寄り合い所のお話も伺いました。認知症のお年寄りと子どもたちの何気ない交流の一場面のお話にはのどかに心が温まる反面、介護現場のかかえる問題はたくさんあることも痛感しました。



『ごみゼロ市民講座』に参加して
～ゴミの減量から非焼却へ～

12/14、「小金井のゴミを考える会・トンボの会」と「国分寺5303の会」が主催した『小金井・国分寺の新ごみ処理施設を考える』講座に参加した。有機的なゴミを水と固形物に分解して大部分を排水処理できる亜臨界水処理方式と、可燃ゴミも不燃ゴミも炭素に変える炭素化方式の業者の説明。それぞれにメリットとデメリットがあり検証が必要だが、まずはさらなるゴミの減量と分別からはじめないと、非焼却でのゴミ処理はスムーズに進まないこともよくわかった。処理施設がないいまだからこそ、小金井ならではの先駆的で環境に配慮した最新の非焼却ゴミ処理施設とシステムが可能になる。それを市民と共に考案すれば、全国から視察が来るような市になれるかも、という希望が見えた。(片山かおる 前原町)

お知らせ

- 2009年4月から前倒しで
- 新学習指導要領が一部始まる!!
- 学校は、授業は、どう変わるの?
- 日時: 2009年1月24日(土)午後2時~4時半
- お話: 藤田英典先生(国際基督教大学教授)
- 場所: 小金井市立第一小学校ミーティングルーム
- 資料代: 500円 ※保育あり(要申込み)
- 主催: 「教育ってなんだろう?」こがねい連絡会
- 「こんな小金井にしたい!」新年の集い
- ◆トークやライブあり。
- 日時: 2009年1月25日(日)午後2時~4時
- 場所: 萌え木ホール
- 参加費: 500円(お茶菓子付き)
- 主催: 市民自治こがねい
- 片山かおるといっしょにかえる小金井の会

小金井市議会議員選挙は
来年3月29日投票です。

市議会議員・漢人あきこと
「市民自治こがねい」も、片山かおるを応援しています